

牛群検定の利活用などについて解説記事を掲載しています

- 1 (新刊) 新(New)「乳」からのモニタリングー乳検成績を活用してー
田中義春氏著 デーリイジャパン社刊行 3000円
現場で問題となっている繁殖と周産期病との関係などを、乳量や乳成分といった牛群検定成績から詳細に解説しています。
- 2 平成23年度検定員養成研修会開催 ー(社)家畜改良事業団ー
デーリイマン 4月号
新しい検定項目であるボディコンディションスコアの判定などに関する研修会を開催しました。
- 3 平成23年度検定員中央研修会開催 ー(社)北海道酪農検定検査協会ー
酪農ジャーナル 4月号
研修会の様子や、平成23年1～12月の北海道内の検定成績の速報値などが紹介されています。
- 4 泌乳持続性を活用した改良と乳生産技術 家畜改良事業団顧問 富樫研治
dairy news 3月<上>号 酪農文庫社
疾病に強く繁殖性の向上等につながるとされる泌乳持続性の改良について、詳細に解説しています。
- 5 新しい検定成績表について(その19) 好評連載中!
LIAJニュース(家畜改良事業団) No 133 平成24年3月号
その19 優良事例から 検定成績が極めて優秀な実際の農家の検定成績表を紹介しています。
最新刊の入手については、最寄りの種雄牛センターまたは事業所にお問い合わせ下さい。
在庫分を無料でお送りします。バックナンバーは当団ホームページをご参照下さい。
<http://liaj.lin.gr.jp/japanese/kentei/kentei.html> **牛群検定情報** **検索**

**ご協力
お願いします**

アンケートのお願い

各検定組合を通じて、牛群検定の情報提供に関するアンケートを実施中です。皆様の日頃の牛群検定の活用等をお尋ねして今後に活かす大事なアンケートになります。皆様のご意見をどしどしお寄せ下さい。インターネットでもアンケートに答えることができます。よろしくご協力お願いします。

http://liaj.lin.gr.jp/japanese/kentei/kentei_enq.html **牛群検定情報** **検索**

= 検定組合の方へのお知らせ =
検定組合送付の一部帳票の電子化について

個人情報の管理や廃棄処理の簡便化等のことから、以前よりご要望の高かった帳票の電子化による送付について、以下のとおり実施します。

- 1) 対象帳票
平成24年4月以降に発行される検定成績表の検定組合控
- 2) 実施時期
平成24年5月予定
- 3) 方法
IPSec利用組合 : 検定組合PCの指定ディレクトリに自動送信します。
CUNets利用組合 : CDにより検定組合に送付します。

ご不明の場合は、お問い合わせ下さい。 toiawase@liaj.or.jp T03-5621-8921 家畜改良事業団

体重を測ろう！（体重推定尺の使い方）

ボディーコンディションスコアが牛群検定で採用されたことで、逆に体重に関する関心が高まっているようです。体重は、設備があれば直接測定できますが、多くの場合は右図に示す体重推定尺により胸囲から推定することになります。

最近は女性検定員も増加しています。小柄な検定員ですと牛の大きさに負けてしまつてなかなかうまく測定出来ない場合があります。検定農家の皆様は、積極的に体重測定のご補助をお願いします。

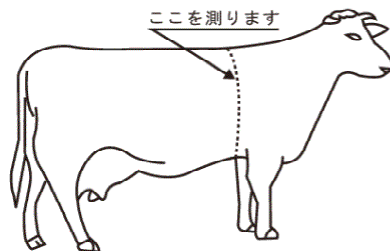
なお、右図の体重推定尺については、お近くの富士平工業株式会社製品の取扱代理店にお問い合わせ下さい。



再販売

ホル協式牛体重推定尺

(ホルスタインの牝牛のみ適用)



測定方法

- ①通常牛の右側で、頭を上げた状態で測る。

- ③指が2～3本入る程度まで締めて、1kg単位で測る。

- ・牛衡機の設備のないところでも容易に推定体重を知ることができます。
- ・巻尺で胸囲を測ることで体重推定ができます。
- ・牛の反対側へテープが落ちやすくするためテープの先端部に重りが付いています。
- ・牛群検定で使用することができます。

- ・測定範囲 胸囲 270cm
体重 43～895kg

富士平工業株式会社

〒113-0033 東京都文京区本郷6丁目11番6号
東京 TEL(03)3812-2271(代) FAX(03)3812-3663
URL/<http://www.fujihira.co.jp>

北海道富士平工業株式会社
〒001-0027 札幌市北区北 27 条西 9 丁目 5 番 22 号
TEL(011)726-6576 (代) FAX(011)717-4406
支店 〒080-0010 帯広市大通南 3 丁目 15 番 1
TEL(0155)22-5322 (代) FAX(0155)22-5339

暑熱対策の準備は出来ていますか？

乳牛は気温が20度前後から暑熱の影響を受け、呼吸数や直腸温が上昇し、乾物摂取量が低下します。その影響で乳量が低下します。ここで大事なのは暑熱対策の開始時期です。気温20度前後とは、西日本や太平洋沿岸では4月ごろということになります。暑熱対策の準備として欠かせないのは、送風扇の清掃です。送風扇にたまったホコリは、風量を著しく低下させ暑熱対策の効果を半減させるばかりか、使用する電気料にも影響します。

[illegible]

さて、牛群検定成績表でも暑熱対策の効果を検証することが出来ます。様式AとBの検定成績表では左図の標準乳量の昨年の夏季をチェックしてみましょう。もし、標準乳量が著しく低下している時は、暑熱対策が十分でなかったことを意味します。その時は昨年以上の暑熱対策の工夫が必要です。